

# 社会環境活動のあゆみ

年	月	JR東日本グループの活動
1987年	4月	日本国有鉄道からJR各社へ、東日本旅客鉄道株式会社発足。「第1回鉄道安全推進委員会」開催
	6月	「グリーンキャンペーン」スタート。お客様の意見を伺う「グリーンカウンター」を設置
1988年	9月	「チャレンジ・セイフティ運動」を全社展開
1989年	4月	安全研究所、総合訓練センターを設置
	5月	安全性を高めたATS-Pを東北線・上野～尾久間で使用開始
1990年	9月	「第1回鉄道安全シンポジウム」開催
	10月	21世紀に向けた経営構想「FUTURE21」を発表。寝台特急に女性専用車両「レディースカー」登場
1992年	3月	財団法人「東日本鉄道文化財団」を設立
	4月	エコロジー推進委員会を設置
	5月	JR東日本発足5周年記念植樹実施(以降、「鉄道沿線からの森づくり」として毎年度継続して実施)
	8月	山手線業鴨駅にて3分別回収試行開始
1993年	3月	終日禁煙を東京近郊及びエリア内主要駅に拡大
1994年	2月	上野駅リサイクルセンター開設(缶・ビン自動分別)。山手線など36駅で3分別開始
	3月	「安全基本計画」を発表
1995年	2月	首都圏の切符リサイクル開始
	3月	新幹線第1次騒音対策完了
	4月	新入社員全員にエコロジー教育開始。パーク&ライド向け格安レンタカー「トレン太くん」登場
1996年	3月	JR東日本のインターネットホームページ開設
	3月	CO <sub>2</sub> 排出量などの具体的な環境目標を設定
	3月	環境報告書「JR東日本の環境問題に対する取り組み」発行
	12月	東京圏輸送管理システム(ATOS)使用開始
1997年	3月	南秋田運転所リサイクル設備稼働。全駅を「分煙化」、普通列車を全面禁煙化
	10月	長野新幹線運転所、東京駅リサイクル設備稼働
	12月	「COP3」に国際鉄道連合(UIC)と共同で参加
1998年	3月	新幹線第2次騒音対策完了
	11月	新木場リサイクルセンター開設(新聞・雑誌分別)
1999年	11月	「世界で最も尊敬される企業」ランキング(ファイナンシャル・タイムズ紙)で27位に
	2月	「安全計画21」を発表。新津車両製作所ISO14001認証取得
	3月	大宮リサイクルセンター開設(缶・ビン自動分別)
	4月	サービスマネージャー登場
2000年	5月	駅で回収した新聞古紙を再生したリサイクルコピー用紙の導入開始
	9月	携帯電話文字情報サービスで列車の運行情報配信サービスを開始
	4月	「JR東日本総合研修センター」開設
2001年	4月	ペットボトル再生制服を導入。インターネットモール「えきねっと」開業
	9月	環境報告書において環境会計を開示
	11月	グループ中期経営構想「ニューフロンティア21」を発表、これに合わせ環境目標を改定
	3月	大井工場、川崎火力発電所、新潟機械技術センターがISO14001認証取得
2002年	7月	埼京線で「女性専用車両」試行導入
	9月	無線による、駅でのインターネット接続実験の実施を発表
	12月	JR東日本研究開発センターを開設
	2月	次世代通勤電車「ACTレイン」の走行試験を開始
2003年	3月	大宮工場でISO14001認証取得
	4月	山手線にデジタルATCを導入
	9月	環境報告書に社会面と経済面も含めて社会環境報告書として発行
2003年	11月	仙台総合車両所でISO14001認証取得
	1月	絵本小冊子「シロクマ、電車でかえる。」を発行
	3月	「駅バリアフリー設備のご案内」パンフレットを配布
	4月	世界初のハイブリッド鉄道車両「NETレイン」の走行試験を開始

## 編集後記

今回から、関係部署の担当者による編集会議をつくり、内容について議論しながら作成しました。JR東日本グループと持続可能な社会との関わりを整理し、わかりやすくお伝えするように努めました。あらためてその難しさを痛感しました。次回以降も、よりJR東日本らしさが出せるよう、チャレンジを続けたいと思います。



## 社会環境報告書2003

2003年9月発行  
(次回発行予定 2004年9月)

東日本旅客鉄道株式会社  
エコロジー推進委員会

〒151-8578

東京都渋谷区代々木二丁目2-2

TEL / 03-5334-1122

e-mail: eco@jreast.co.jp

http://www.jreast.co.jp/eco